

えひめ水産イノベーション創出地域

新流通システムの開発と水産業の6次産業化を目指して～持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築～

総合調整機関

公益財団法人 えひめ産業振興財団
〒791-1101
松山市久米窪田町337-1
TEL 089-960-1100 (代)
TEL 089-960-1154 (直)

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

- 産…愛媛県漁業協同組合連合会、愛媛経済同友会、(株)テクノネットワーク四国
- 学…**愛媛大学**
- 官…愛媛県、宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町
- 金…(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、愛媛信用金庫、宇和島信用金庫、愛媛県信用漁業協同組合連合会



プロジェクトディレクター
亀岡 洋一

略歴：昭和53年伊予銀行に入行、平成21年いよぎんキャピタル(株)代表取締役役に就任し、ベンチャー企業の育成・投資業務に従事。平成24年現職に就任。

えひめ水産イノベーション創出地域は、愛媛県の基幹産業である水産業の活性化を通じての地域振興に取り組んでいる。全国から研究者を集積し、地域の水産業を支える人材を育成するとともに、地域の自主的な水産業振興策である「宇和海水産構想」と連携し、水産業再生に向けた成功モデルを発信していく。

地域イノベーション戦略

事業の対象地域である愛媛県南予地域に面する宇和海沿岸は、リアス式海岸に恵まれ、高い漁業生産を上げており、特に養殖業の生産高は日本一の地位にある。本事業では、愛媛大学に新たな研究者を集積するとともに、地域の水産業を支え、6次産業化を担う人材を育成する。また、地元市町が推進する「宇和海水産構想」と協調し、産学官金の各機関が協力して宇和海地域の水産業の活性化に取り組むとともに、国内の水産系大学とのネットワークを構築して地域の状況に即した新たな流通システムの開発と水産業の6次産業化を目指す。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

(実施機関：愛媛大学)

①ICT等を活用した赤潮・魚病対策技術の研究 ②免疫能賦活化養殖技術の開発 ③モデル海産魚を用いた新魚種の成長・成熟機構の基盤研究 ④マグロ類の完全養殖を目指した基盤研究 ⑤流通システムの改革による新たな水産ビジネスの構築に関する研究をテーマに、全国から5人の研究者を招聘し、「愛媛大学南予水産研究センター」と「うみらいく愛南」に配置。宇和海の水産業に密着した有害赤潮プランクトンの高感度モニタリング技術の開発、カツオ一本釣りの「まき餌」の安定確保を目指したカタクチイワシの成熟・産卵に関する研究や輸出を視野に入れた愛媛に適合した養殖業における新たな流通システムと6次産業化ビジネスモデルの創出等に取り組んでいる。



2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：愛媛大学)

宇和海における水産業を担う次世代の教育と6次産業化を目指す若手リーダーの育成を行うため、人材育成担当者を愛媛大学に配置し、講師による座学、先進地における現地実習や個別自主研究を内容とした漁業関係者向けの人材育成講座『水産イノベーションスキル修得講座』を毎月2日、周年開催するとともに、人材育成プログラムの開発や「ぎょしょく教育」等に取り組んでいる。「ぎょしょく」とは食だけでなく、触（魚に触る）色（魚の特色）職（魚の仕事）殖（魚を育てる）飾（魚の伝統文化）植（魚をめぐる環境）について広く学び、魚食普及を図る取組み。

3. 大学等の知のネットワークの構築

(実施機関：公益財団法人 えひめ産業振興財団)

総合調整機関の「えひめ産業振興財団」に戦略支援プログラムを統括するプロジェクトディレクターを配置して、事業展開を企画・構想して事業化を促進する。また、水産業界や大学のシーズとニーズの情報を収集する地域連携コーディネータを配置して、大学や公設試と漁業団体、漁業者や水産関連企業とのネットワークを構築するなど研究から事業化まで見通したマネジメントを展開している。

(ホームページ参照<http://www.ehime-iinet.or.jp/inove/>)



平成25年2月12日開催 研究成果報告会